

『為せば成る！』

～誰にでも出来るセルフマネジメント、自己実現法～

経歴だけ見ると、幼い頃からラグビー界のスター選手として王道を歩んできたと思われがちである大畑大介だが、実は幼少期は泣き虫、高校入学時は全くの無名選手だった。そんなどこにでもいる普通の少年だった彼を、「ラグビー日本代表キャプテン」、「国際試合トライ数世界記録樹立」、「2度のアキレス腱断裂からの復帰」等の偉業を成し遂げる「ヒーロー大畑大介」に変身させた魔法の言葉『為せば為る！』。自身の体験を通じて、「為せば成る！」とは、「常に自分と向き合い、“夢”を“夢”で終わらせないために目標を一つずつクリアしていくことなんだ」と語ります。

「夢」を「現実」に変えるヒントが学べる内容です。

『迷ったらしんどい道を進め！』

～目標達成方法、目標達成するための本当の近道とは？～

人生の岐路や目標達成までのプロセスにおける大畑大介のポリシー、それは、「AとBという選択肢があるならば、敢えてしんどい方を選ぶ、そうすることで得られるものは大きい」である。

一見、目標達成までの道のりに、遠回りで険しい道を選ぶことは、無駄なことが多いと思われるが、その長く険しい道を通じて得られる経験は大きい。その貴重な経験こそが大きな武器となり目標達成へと導く。

「京都産業大学、神戸製鋼を選んだ理由」、「海外への挑戦」、「なぜ二度のアキレス腱断裂から復帰できたのか？」等のラグビー人生での岐路に立たされた時のエピソードを交えながら、「常にしんどい方を選ぶ大切さ」と、「その選択によって得られた貴重な経験」を語ります。

『根拠のない自信を信じろ！』

～根拠は自ずとついてくる～

自信とは、成功に至るために欠かせない要素である。失敗を恐れず積極的に一步踏み出す行動を起こすには、「根拠のない自信」が必要である。

ラグビー選手としては小柄な大畑大介が、どのようにして日本代表になり、トライの世界記録を樹立し、さらには世界のラグビー殿堂入りを果たすことができたのか。また、2度のアキレス腱断裂を経験するも、グラウンドに戻ってきた大畑の精神力の強さはどこからく

るのか。

周りから何と言われようとも、「オレには出来る、オレは絶対にトップになる」と、敢えて公言し自分を信じ込むことが、大畑なりのひとつのモチベーションを上げる生き方でした。新しいチャレンジをするときは、100%うまくいく保障などない。だからこそ、「自分ならきっとできる」という「根拠のない自信」を強く持ち、思いきって行動を起こせるかどうか重要です。

誰の心にもあるちょっとした「根拠のない自信」を「信じ抜く力」の大切さを、実体験を交えお伝えします。

『ラグビーは社会の縮図だ』

～信頼と個性の尊重でつなぐ組織力・団結力～

ラグビーには、体の大きい選手、体の小さい選手、足の速い選手、力の強い選手等、それぞれの個性を生かせるポジションがあり、互いの立場を理解、尊重～しながら、自分の役割を全うするスポーツです。加えてラグビーは、ボールを前に運んでゴール（トライ）を目指すスポーツにもかかわらず、前にパスを出してはいけないというルールがあります。ボールを後ろに戻してでもパスを出すのは自分が犠牲になっても、ボールを活かしてくれると心から「信頼できる人間」だからであり、パスを受けた選手はボールに託された「信頼」という重みを感じてプレーします。

「個性の尊重」と「信頼」を大切にするラグビーは、まさに私たちが生きている「社会の縮図」ではないでしょうか。

人間が社会や組織で生きることの意義をお話します。